

高椋コミュニティセンター・高椋西部コミュニティセンター

発行 令和7年5月14日(水) 第49号

編集 高椋コミュニティセンター TEL 68-0843
丸岡町西里丸岡 12-21-1 Fax 68-0840
高椋西部コミュニティセンター
丸岡町舟寄77-15-2 TEL 66-0047

コミセンだより

地域の無形民俗文化財を次世代に継承する研修会

佐伎治神社式年大祭「高浜七年祭」見学 参加者募集

高浜七年祭とは

かつて日本では、疫病や災厄は御霊(死者や怨霊)が原因であると考えられていました。

それを鎮めるために行われてきた「御霊会」のひとつが、高浜七年祭。

十二支の子から巳を陽、午から亥を陰とし、その陰陽の極まった巳と亥の年を「まつり年」として、6年おき(まつり年を含めて7年目ごと)に行われます。

神輿巡幸を中心に、曳山芸能、太刀振、神楽、お田植、^{にわか} 俄などの各種芸能が、連日連夜7日間に渡り繰り広げられる高雅な祭です

(高浜町「高浜七年祭」チラシより引用)



なかなか見ることができない祭「高浜七年祭」を見て「感じて」福井県の無形民俗文化財を継承することについて想いを馳せてみませんか。

ちなみに

高椋地区の
伝統無形文化財
は舟寄踊りです



- ◆日 時 6月15日(日) 午前7時30分集合
丸岡着は午後5時頃
- ◆集合場所 高椋コミュニティセンター玄関前
- ◆参加費 5,000円(当日集金)
- ◆行き先 福井県高浜町 佐伎治神社、中山寺
- ◆対象者 高椋地区にお住まいの方に限ります
- ◆定員 30名(定員になり次第締め切ります)
- ◆受付開始 5月21日(水) 午前9時より受付開始
※受付は平日の9時から17時までです
- ◆申込み 下記の申込書を高椋コミュニティセンターへ持参ください
高椋コミュニティセンター (TEL0776-68-0843)

主催：たかむくのまちづくり協議会 歴史文化部会

「高浜七年祭」見学 申込用紙 (受付開始日 5月21日 午前9時から)

氏名	住所	電話番号
	〒	
	〒	

受付開始日前の申し込みはできないのでご注意ください

たかむくのまちづくり協議会歴史文化部会 歴史講演会（第一回）

隠れた名将 堀秀政

高椋との関わりをまじえて

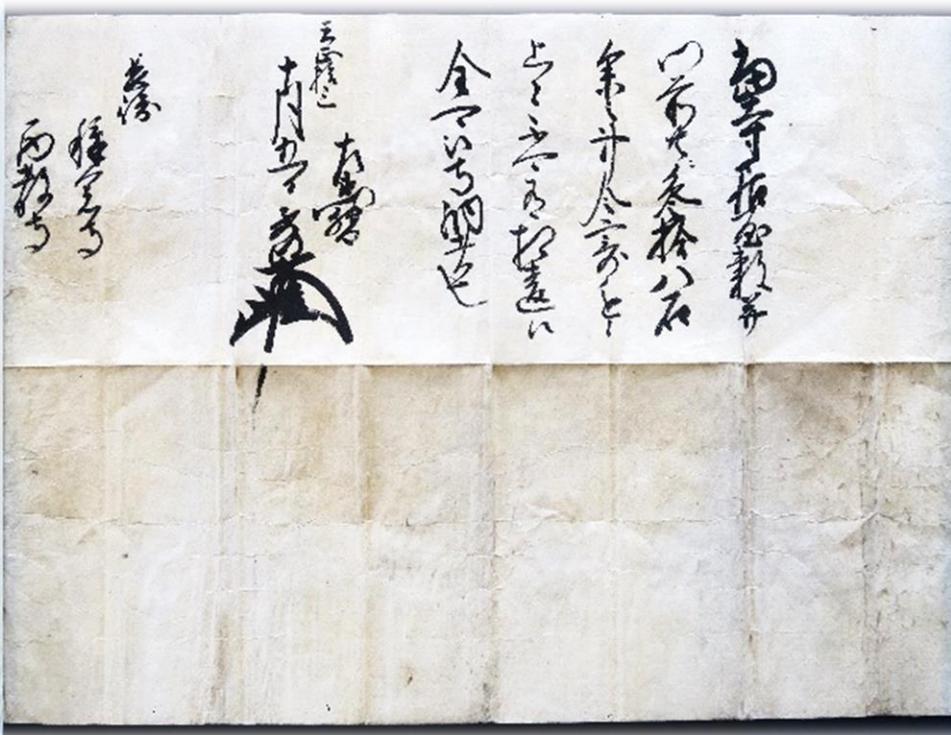
日時 6月14日(土) 10:00~12:00

会場 高椋コミュニティセンター3階大会議室

入場無料、どなたでもお気軽にご参加ください

織田信長や羽柴秀吉に信頼され、天正13年(1585)から越前北庄城主となり、豊臣政権にとって「北国支配の要となる大名」と評された戦国武将 堀秀政(1553~1590)。

戦国時代のキーパーソンでありながら意外に知られていない秀政について、高椋地区の関連史料をまじえつつ紹介します。



→天正十三年一〇月五日
堀秀政寺領寄進状(称念寺文書)

次回以降も、角先生による講演です

第2回「丸岡藩の特産『豊原素麺』」(9月6日)

第3回「秀吉の時代における坂井地域と武将たち」(2月28日)

開催日近くに「コミセンだより」にてお知らせします

講師 角 明浩 氏

坂井市教育委員会
丸岡城国宝化推進室 学芸員

1978年、福井県坂井町に生まれる。2008年に学芸員として坂井市教育委員会に入り、坂井市龍翔博物館のリニューアルを担当し、現在は丸岡城国宝化推進室学芸員。専門は戦国・織豊期および江戸初期(文献史学)。

近年の主な論考や共著として

- ・「越前北庄城主期の堀秀政・秀治一発給文書の検討をとおして一」
(『戦国史研究』70、2015年)
- ・「越前における豊原寺の特殊性—越前一向一揆での動向および近世の関係寺院から—」
(『地域統合の多様と複合』桂書房、2021年)
- ・『越前若狭 武将たちの戦国』(編集・共著、岩田書院、2023年) など

